

農林水産委員会県内所管事務調査の概要

(台風第18号災害に係る復旧・復興推進計画の進捗状況現地調査)

【平成30年2月21日(水)】

◆調査箇所：乙見ダム(臼杵市乙見)

<概要>

乙見ダムは、かんがい・洪水調節を目的にしているが、ダム堤体の貯水面に約3,600m³もの木竹等が堆積し、施設の管理や操作等に支障をきたしている。このため、臼杵市が1月下旬から流木撤去工事を実施しており、その進捗状況について現地調査を行った。

<主な質疑等>

- ・堤体に堆積した流木、土砂等の撤去計画・スケジュールについて
- ・流木等の利活用について



◆調査箇所：みかん園(津久見市津久見)

<概要>

津久見市は急峻な農地が多く、果樹園などの法面崩落、農道や水路の崩壊など被害が多発している。このうち、園地の大規模崩落、モノラックなど農業用施設・鳥獣害防止柵の損壊など大きな被害を受けたみかん園では、現在、法面保護工をあわせた復旧を計画しており、その被災状況及び復旧計画について現地調査を行った。

<主な質疑等>

- ・被災額、被災規模について
- ・復旧事業の概要、工法について



◆調査箇所：イチゴ栽培施設（佐伯市直川下直見）

<概要>

新規就農者のイチゴ栽培施設が完成間近で冠水被害を受けたが、直ちに復旧工事を開始し、県などの関係機関・JA部会など延べ35人が連携して復旧支援を行った結果、通常の10日程度の遅れで無事に栽培を開始することができた。その取組の概要について現地調査を行った。

<主な質疑等>

- ・被災額、被災規模について
- ・今後の浸水対策、減災対策について

